



ニユースの連絡と開読のご用命は
串本支局
 〒649-3503
 串本町串本2304
 成和ビル1F
 TEL0735(62)7171
 FAX0735(62)6692
坂井新聞舗
 串本町串本1865
 TEL0735(62)0897
合 細新聞舗
 串本町串本633
 TEL0735(72)0043
 FAX0735(72)3423
新宮通信部
 〒647-0015
 新宮市千穂1-10-29
 TEL0735(28)1717
 FAX0735(28)0077

串本港潮位表

時刻	5:46
満潮	183
時刻	19:41
干潮	184
時刻	0:25
干潮	103
時刻	12:52
満潮	4

7月4日(金)

串本町 神戸夙川学院大と協定

観光振興で 修学旅行を手助け

体験型観光に力を入れる串本町は2日、観光産業の担い手を育成する神戸夙川学院大学(神戸市)と、観光振興で連携するパートナーシップ協定を結んだ。同町で9月から本格化する修学旅行を、学生が授業の一環で手助けするなどの活動をする。松原繁樹町長は「強力なパートナーを得た。新しい観光をつくり上げるため、力強い支援に期待したい」と話している。

町は体験型修学旅行の誘致に観光文化学部の1学部で明を進め、2007年10月、近学した。大学にとっては現地で初めて、漁師などの民家、学習の場として、一方、町にで田舎暮らし体験をする「民」としては修学旅行生を受け入れ泊」として修学旅行生を受け入れる。今年には埼玉県などから13校が修学旅行で訪れ、そのうち8校が民泊をする。神戸夙川学院大学は07年4月、神戸ポートアイランド内、長が協定書に調印した。

(計450人)の選択授業 交代で串本町を訪れ、民泊の「イベントコーディネーター 受け入れや力やなど体験コース」で取り組む。選択し 事業を手伝うことで実践的に学生は、修学旅行に合わせ 学ぶ。



調印後、握手を交わす松原繁樹町長(左)と 渡瀬信之の学長一串本町で

首長日程

- ▽串本町長 在庁 4日
- ▽古座川町長 在庁
- ▽新宮市長 市防災会議
- ▽那智勝浦町長 喜寿の集い、合併に関する住民説明会
- ▽太地町長 在庁
- ▽北山村長 在庁

協定には、観光振興に関する調査や人材育成のための提言のほか、町から推薦された学生に対し、入学金減免制度を適用することも盛り込まれている。

渡瀬学長は「学生に新しい観光を体験で学ばせたい」と思っている。スタッフが不足している町にとっても有益だと思つて。期待を寄せ、授けを担当する和歌山市出身の小野田金司教授は「田舎には自然がたくさんある。都会には自然はないが人間はいる。融合することで観光産業を担うリーダーの育成と地域振興ができればと思う」と話す。

神戸夙川学院大学はパートナーシップ協定を、松江市と

京都府宮津市の観光協会と結んでいるが、自治体とは初めて。

新翔高校も連携協定

新翔高校は07年度に校名を神戸夙川学院大学と連携協定の調印を交わした。

新翔高校は07年度に校名を変更し、総合学科に観光コースを設置。神戸夙川学院大学が掲げる「観光は人間と文化と自然との共生を推進するためのエンジン」とする教育理念と、目指す方向が合致したことから提携を決めた。

渡瀬学長と尾崎元治校長が協定書に調印した。

計画では、8日に小野田教授が高校に向き、授業をする。

交通事故発生状況 7月2日現在 7月2日現在 7月2日現在

○内は前年7月2日現在との比較

県内	3563件
	(215件減)
死者	32人
	(7人増)
串本署管内	65件

8月2、4日には観光コースの生徒が、大学のオープンキャンパスに参加。11月には小野田教授が「熊野古道」をテーマに高校で授業を行い、現地学習もする。